

日・ASEANサイバーセキュリティ協力に関する閣僚政策会議 安倍晋三内閣総理大臣挨拶

ただいまご紹介いただきました、日本国内閣総理大臣の安倍晋三です。

「日・ASEANサイバーセキュリティ協力に関する閣僚政策会議」にご参加をいただきました、閣僚の皆様、副大臣、政府高官の皆様、誠にありがとうございます。会議の開催に向けて、多大なる協力をいただきましたASEAN事務局や各国関係者の皆様にも、お礼を申し上げます。

日本とASEANは、アジア地域の平和と安定、また、発展と繁栄のために、長年にわたり緊密に協力関係を築いてまいりました。本年は「日・ASEAN 友好協力 40 周年」の記念すべき年であり、政治・経済・文化・人的交流など幅広い分野で交流事業が実施されています。

私は、昨年12月に内閣総理大臣就任以降、真っ先にASEANを訪問したのを皮切りに、9か月の間に、3回訪問いたしました。これは、ASEANの皆様との関係を非常に大切なものと考えている証しでもあります。その際、日本との関係をより緊密なものとするため、我が国がASEANの対等なパートナーとして共に歩んでいこうというメッセージをお伝えしてまいりました。

現在、サイバー空間では、「国境」を意識することなく、グローバルな経済活動が

活発に行われています。社会を支えるインフラとして、その存在感が日々高まっています。一方で、私が、8年前に、内閣官房長官として、サイバーセキュリティ政策の担当大臣であった時と比較しますと、グローバル化したサイバー空間の脅威はますます複雑化、深刻化しています。

我が国は、ICT 先進国として、サイバーセキュリティについて、これまで、世界に先駆けて数々の深刻な課題に直面してまいりました。この過程で得た豊富な知見を、国外にも提供し、積極的に活用していただきたいと考えます。サイバーセキュリティは、待ったなしの最重要課題であり、とりわけ、各国が一致団結し、連携して取り組んでいく必要性を痛感しています。日本と ASEAN 各国が、「情報の自由な流通」を確保しつつ、安全で活力あるサイバー空間構築に向けて、ともに力をあわせて、取り組んでいこうではありませんか。

この度、日本でこのような会議が開催できたことは大変有意義だと、そう感じています。皆さんとの建設的な議論を通じて、地域の平和と繁栄につながる大きな成果が得られることを期待してやみません。なお、この成果は、本年 12 月に東京で開催される「日・ASEAN 特別首脳会議」で首脳レベルの共通認識といたしたいと考えています。

この会議が成功し、日本と ASEAN 各国の関係がより緊密になることを祈念して、私の挨拶といたします。